

めざせ！健康寿命日本一！ コンビニエンスストアとの協働による受動喫煙対策実証実験

取組の背景

- 1 改正健康増進法による受動喫煙対策の推進
- 2 包括協定に基づく連携の推進
- 3 企業・団体など多様な主体との連携・協働による「健康寿命日本一おおいたの実現」に向けた健康づくりの推進
- 4 来県者への快適な環境づくりの推進
ラグビーワールドカップ2019日本大会の開催(9月～11月)

趣 旨

- 1 新たな連携で受動喫煙対策に取り組み、地域の健康づくりを推進する。
- 2 実証実験として実施し、今後の取組について検討する。
- 3 受動喫煙対策を通して健康について考えるきっかけや行動へのきっかけづくり

現状・課題

- 1 **たばこの煙で不快な思いをしたことがある者の割合は60.3%**(平成28県民健康意識行動調査結果)で、交差点付近の店舗等の受動喫煙に対する苦情もあると伺っている。
- 2 コンビニは地域に密着し、学生や子どもの利用も多いため、**健康影響が大きい20歳未満の人に対する受動喫煙を防止するうえで重要な場所**である。
- 3 コンビニは非喫煙者と喫煙者が利用するため、両者に受動喫煙についてのメッセージを伝えるのに効果的である。
- 4 日本フランチャイズチェーン協会にも依頼し、協力を得られている。
- 5 県では、本年度から飲食店に対して実態調査を実施するなど受動喫煙防止の啓発を推進している。

内 容

【対象企業】

株式会社ローソン
株式会社セブン-イレブン・ジャパン
株式会社ファミリーマート
山崎製パン株式会社
デイリーヤマザキ事業統括本部

【実施期間】

令和元年9月17日～10月31日
※大分県の健康寿命延伸月間(10月)

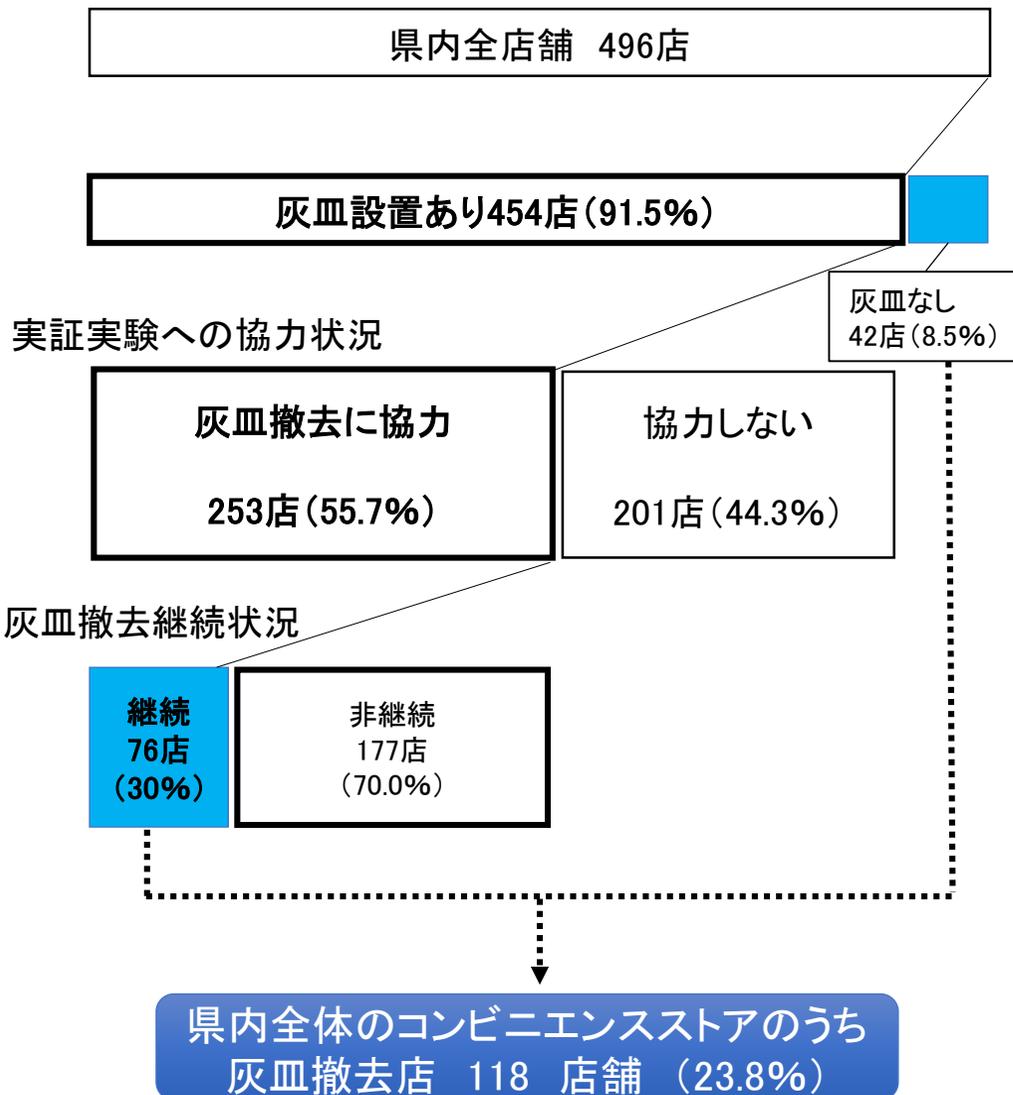
【実施内容】

- ①受動喫煙対策についてのポスターの掲示
 - ②店舗敷地内からの灰皿の撤去
 - ③期間終了後、各店舗へのアンケート
(質問項目)お客様の反応、お客様の声、従業員の反応など
- ※ 加盟店については経営者の判断による。

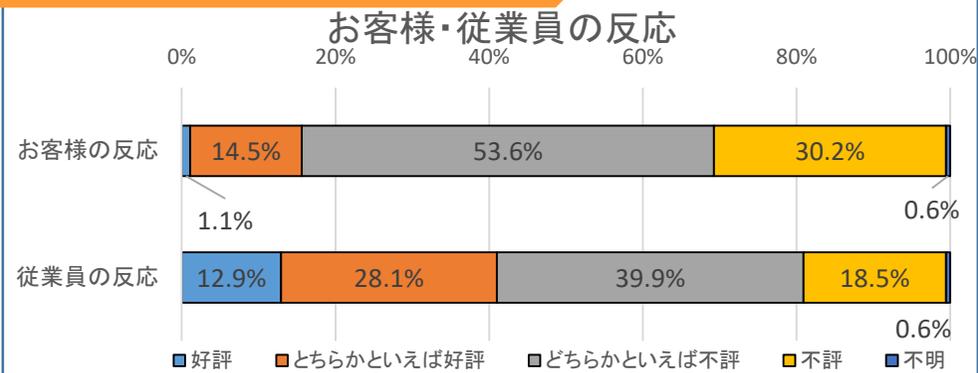


受動喫煙対策実証実験の結果

協力意向及び取り組み継続状況



協力店舗アンケート結果



【具体的なお客様の声】

- (好評) 「吸う人がいなくなって子どもが安心」
- (不評) 「吸えなくなって不便」、「たばこを販売しているのに、吸えないのはおかしい」

【具体的な従業員の声】

- (好評) 「灰皿撤去によりジュース・コーヒーの飲みかけの放置や食べ残しのゴミもなくなった」、「携帯灰皿を購入する方も増えた」
- (不評) 「店の周囲がポイ捨てで汚くなる」、「清掃が大変」

県民アンケート結果

